

学校の教育目標

令和8年度 熊本県立ひのくに高等支援学校 グランドデザイン

校訓 『心』清く 『道』正しく 『生』逞しく

教育目標 生徒一人一人の能力・特性に応じたきめ細かな指導に配慮しながら、生徒の自律的、主体的な態度を尊重し、社会自立・職業自立のための教育を行う

めざす職員の姿

- ◆教育的愛情をもって生徒一人ひとりに寄り添う
- ◆自ら学ぶ心を忘れず、専門性の向上に努める
- ◆迅速な報連相を基盤に、組織で動く意識をもつ
- ◆「うしろ姿の教育」を念頭に、生徒や保護者、誰に対しても説明責任が果たせる言動をとる

めざす生徒の姿

- ◆自らの可能性を最大限に発揮することができる
- ◆思いやりをもって、多様な価値観を受容できる
- ◆礼節をわきまえつつ、適切な状況判断ができる
- ◆自立をめざし、課題に直面してもしなやかに対応し、乗り越えることができる

学校経営方針

- ◆教育活動や寄宿舎指導において人権意識を堅持し、生徒及び職員の安全・安心を担保する
- ◆生徒の勤労観・職業観の涵養に努め、関係機関と連携を図り進路保障を確かなものとする
- ◆職員の資質向上を図り、予測困難な時代に立ち向かう力を身につける教育を志向する
- ◆センター的機能の強化や交流活動及び共同学習推進により、地域の特別支援教育の充実に寄与する

本年度の重点取組

生徒・職員が安心してすごせる環境づくり

- 【生徒】●不適切な SNS 利用への指導●言葉遣いへの意識向上●はつらつとしたあいさつの徹底
- 【職員】●お互いに話しやすい、意見を出しやすい雰囲気づくり（心理的安全性の高い職場環境）●時間外勤務の現状を踏まえた業務の平準化

学校全体で取り組む進路保障

- 現場実習や四者面談をととした最適なマッチング●アフターケアで得た情報の迅速な共有●就労に向けた意識高揚や卒業後の生活環境確保を企図した、関係機関との緊密な連携●困り事・悩み事を周囲に相談する援助希求能力の育成

授業研究と職員研修の充実

- 教科間連携の推進●生徒の知的欲求を満たす授業の研究●自立活動の視点を重視した授業づくり●「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の有効活用●校務 DX 推進（すぐーる、Forms の活用）●システム統合を見据えた業務の整理

地域連携や社会貢献の質的向上

- 地域の幼保小中高への巡回相談や各種研修への職員派遣●販売会や環境美化活動をととした地域交流の促進●学校見学会・オープンスクールや HP 更新による本校教育活動の情報発信力の強化●学びの成果を実感できる機会の創出

ひのくに高等支援学校の教育

清く・正しく

校訓

逞しく

社会の一員としての素養

個としての力

協調性

道徳性

規律性

コミュニケーション 善悪の判断 礼節

気力

体力

忍耐力

人間性

学校生活

働く力

社会自立・職業自立